

地域学部 地域学科 人間形成コース

募集人員(予定)
4人

3年 | 俵 梨々花 さん (たわら りりか) [鳥取県立鳥取西高等学校 出身]



鳥取のお気に入り

疲れを癒してくれる天然温泉

岩井温泉・三朝温泉・皆生温泉など、鳥取県は名湯が幾つも湧く温泉天国。私は湖山池のほとりに建つ施設の天然温泉が大好き。湖山池を一望できる展望風呂で、最高にリラックスできますよ。

■ AOで受験チャンスを増やし、夢に挑戦!

地域の歴史を研究・発表したり地元イベントに参加したりと、充実した小学校時代を過ごさせてくれた担任の先生に憧れて、私は小学校の先生になりたいと思うようになりました。鳥大地域教育学科は免許・資格が複数取得できる上、地域と教育のつながりについても学べて私の理想にピッタリ。一般入試でいくつもりで担任の先生に相談したら、「チャンスが増えるから」とAO入試を勧めてくださいました。8月中旬というギリギリのタイミングだったけど、AOでの挑戦を決心しました。

早速取り寄せた願書は、罫線のない白紙だったのでビックリ。「とにかく表も裏も埋めなくては」と思い、最初は小さな字でビッシリ書き込みました。でも先生の添削を受けるうち、「文字量がやたら多くても相手には伝わらない」ことに気付いて。程よい量で、端的にまとめるのがベストですね。人前で話すのは得意なほうなので、1次面接の練習は2~3回程度。願書の内容を丸暗記するのではなく、臨機応変な受け答えと、相手の目を見てハキハキ話すことを心がけました。

■ 小論文のコツをグループ討論に応用

2次選考対策は英文読解と小論文に集中。特に小論文は経験がなかったので、「練習あるのみ!」でした。毎日こなすうちにコツがつかめてきたし、次第に「目指したい教師像・教育の在り方」といった将来のビジョンもはっきりしてきて、試験全体を通してすごく役立ちました。口頭発表では突っ込んだ質問もあるので、小論文を書いているときから自分の考えをまとめておくことが大事ですよ。

グループディスカッションは練習相手がなくて対策できていなかったけど、小論文のハウツーを応用。まずは資料から読み取れることをメモして考えをまとめ、自分の言葉で伝えることに専念。討論が進んでいったら、周りの意見を取り入れながら、それに対して自分はどう思うのかをすばやくまとめて、次の展開につながる発言をするよう努めました。毎日、新聞を読んでいたことも助けになりました。

大学では今、特別支援教育の勉強に取り組んでいます。夏休みには教育実習にも行きました。特別支援学校教諭の免許も取得したいと考え、頑張っています!

平成29年度AO入試 第2次選考 <選抜のポイント、面接・論文等の出題例等>

平成29年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。

平成30年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

なお、AO入試の過去問題は、平日の9:00~17:00に、鳥取キャンパスは入試課、米子キャンパスは医学部学務課で閲覧することができます。

全体を通して
求める力

地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と共働して問題解決する力を求めます。

小論文

教育に関する英文資料(A4版で1枚)および近年の社会で起きた問題に関する社説記事(日本語、A4版で1枚半)を読み、120分で設問(4問)に解答するものでした。設問は、英文資料では指定した箇所の和訳を問うものが1問、本文中で使用される概念の意味を問うものが1問(200字以内)、日本語資料では下線部該当箇所の内容理解に関する問題が1問(50字)、文章全体で議論されていることの意味を問う問題が1問(600字)でした。

口頭発表

小論文の日本語資料における筆者の主張を前提に、教育に期待できることと、教育ではできないことを考えて発表してもらい、受験生の教育に対する理解を確認しました。1人あたり13分(発表準備5分、発表5分、質疑応答3分)で発表するものでした。

グループ
ディスカッション

2つの課題に取り組み、ディスカッションを行いました。1つ目の課題では、資料に基づいて「総合的な学習の時間」がもたらす効果を読みとる問い、2つ目の課題では、資料と自らの経験に基づいて「総合的な学習の時間」において子どもたちはどのようなことを学んでいるのかという問いでした。総時間数は90分。

個人面接

4名の面接官による、1人あたり15分の面接を行いました。